

**平成22年度  
介護保険特別会計  
歳入歳出決算**

**質疑**

21年度よりも7.7%介護認定者が伸び、在宅が2千399人、施設が257人となっているが、施設待機者の現状と、待機者を減らすための努力は。

**答弁**

施設待機者、4施設で199人。重複や入院中などが含まれる。

待機の解消では、今年度八開地区に1カ所グループホーム、地域密着型サービスを整備。老人ホームは、海部・津島の福祉圏域で現在88床の枠が残ったまま。圏域等の調整も見きわめながら対策をとっていかなければならない。

**平成22年度  
公共下水道事業特別会計  
歳入歳出決算**

**質疑**

公共下水道の補助金制度が改正されると、愛西市の財源に大きな影響が出る。一般会計の繰入金財源は。歳出の何に充当しているのか。

**答弁**

将来の市債、一般会計からの繰り出しは。

充当先は、一般管理費の人員費、賃金及び需用費、公共下水道施設建設費、(国庫補助及び起債分を除いた額)、日光川下流域下水道事業費(起債以外分)、それから公債費の元金・利子分など。

起債償還のピークは、平成44年に工事が終了したとして、その翌年の平成45年がピークになる。繰入金のピークは、工事終了年の平成44年。

**討  
論**

**一般職の任期付職員  
の採用等に関する条例の  
制定**

**賛成討論**

社会情勢から考えれば、ベストの条例ではない。しかし、保育士にとっても、園にとっても、子供たちにとっても、現状はよいことではない。多量なりとも改善される。

**反対討論**

臨時職員の保育士の待遇、労働条件を改善する点はあるが、常勤でも勤め手当がないなど差別がある。さらに、保育士以外にも適用されれば、正職員を減らし、任期付職員を増やし、不安定雇用を拡大する危険性もある。

**一般会計歳入歳出  
決算の認定**

**賛成討論**

小学6年生まで拡大した子ども医療費、総合斎苑建設事業、学校給食センター整備運営事業、勝幡駅前周辺整備事業などは、市民の生活に直接関連する望ましい事業だ。

今後の大きな事業に関して、必要性、緊急性、費用対効果を十分考慮し、経費を圧縮すること、自主財源の確保増大の施策を第一義とすることを要望する。

**反対討論**

子供の医療費が3年生から6年生に拡大、小学校の耐震化を完了、妊婦検診を14回までの拡大の一方で、箱物行政を推進し、大きな式場、駐車場をつくり、使える立田給食センターを壊して、新給食センターをつくっている。

また、不便になった巡回バスは早期に改善を求め。

近づく3連動地震、大不況の中、大型事業よりも市民の福祉、暮らしを優先すべきだ。

